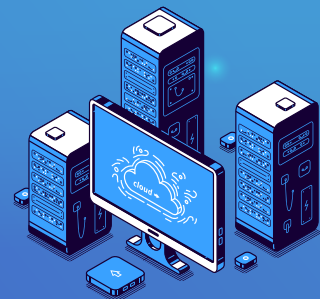


01 時代が求める「BCP/DR 対策」。miteneCloud が提案する新たな解決策

02 「事業継続の要」として注目される BCP/DR 対策。miteneCloud の役割とは？

03 「備え」に投資する時代へ。まさかの事態から企業を守る miteneCloud の新サービスとは



近年、ランサムウェア攻撃や自然災害によるシステム被害が相次ぐ中、事業継続のためのデータ保護がますます重要視されています。福井県の老舗インターネットプロバイダーであるミテネインターネット株式会社は、こうしたリスクに対応するために『miteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービス』を開発し、2025年1月にリリースしました。

本サービスは、miteneCloud上にデータのスナップショット（瞬間的なデータのコピー）を自動取得することで、万が一の際に迅速な復旧を可能にします。特に、地震リスクの低い福井県のデータセンターにデータを保管するため、より安全な体制での運用が可能です。

今回は開発の背景やサービスの特長、そして今後の展望について、ミテネインターネット株式会社の東明男技術部長にお話を伺いました。

「どんなに注意しても防げないリスク」への備え。
miteneCloud が提供する安心感

— まずは自己紹介をお願いします。

東様：ミテネインターネットの東と申します。1997年に入社して以来、技術部門でサービスの企画・運用・維持管理に携わってきました。現在はエンジニアとしての実務は他のメンバーに任せつつ、チームとともにサービスの運用管理を行っています。

— miteneCloud Nutanix 遠隔スナップショットサービスは、どんなサービスですか？

東様：miteneCloud上にデータのスナップショット（瞬間的なデータのコピー）を自動的に取得し、万が一ランサムウェア感染や災害などで本番システムのデータが失われた際に、迅速にデータを復旧できるサービスです。福井県という地震リスクの少ない地域にデータセンターがあるため、安全なデータ保管と迅速な復旧が同時に実現できます。

— miteneCloud Nutanix 遠隔スナップショットサービスを開発した背景を教えてください。

東様：近年、企業にとってBCP（事業継続計画）およびDR（災害復旧）対策の重要性がますます高まっています。例えば製造業では、災害時に生産ラインが稼働できないリスクなどが想定されます。しかし、BCPについてはまだ全国の企業の半分程度しか対応できておらず、その実態に着目しました。

それに加え、ランサムウェア攻撃やサイバーセキュリティリスクの増加により、データが暗号化されたり、改ざんされたりする被害が年々拡大しています。特に、重要な機密データを抱える企業では、万が一の際にデータが使用不能になれば、事業そのものが大きく揺らいでしまいます。

実は当社でも以前、社内で偽のランサムウェアメールを使った訓練を実施したことがあったのですが、そのメールを開封してしまった社員が一定数いました。そうした経験から、「どんなに注意していても完全にリスクを防ぐのは難しい」と実感したんです。だからこそ、万が一に備えたデータ保護と復旧の体制づくりが重要だと感じました。

実はmiteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービスは当社が独自に思いついたわけではなく、三谷商事さんを通じてお客様から『こんなことはできないか？』とご相談をいただいたことがきっかけで生まれたんです。特に製造業の企業様から「災害やサイバー攻撃のリスクに備えたバックアップ環境が欲しい」という声が寄せられ、そのニーズに応えるべくNutanixのスナップショット機能を活用したサービスを開発しました。

南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への備えも、企業にとって重要な課題となっていますよね。自社拠点が被災してしまうと、物理的なバックアップデータの保護が困難になるリスクがあるため、より安全かつ効率的なバックアップ体制が求められています。

こうした課題を解決するために、miteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービスを開発しました。従来のシステムよりも低コストで導入でき、なおかつデータ保護や迅速な復旧が可能です。まだリリースして間もないですが、製造業の企業様やBCP対策を強化したい企業様から非常に高い関心を寄せていただいています。

「追加ソフト不要」でスムーズに低コスト導入。
Nutanix 基盤の強みを活かして

— miteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービスにはどのような特長がありますか？

東様：まずはデータの迅速な復旧です。災害やサイバー攻撃でデータが失われても、miteneCloud上にあるスナップショットを活用することで、短時間で復旧できます。スナップショットは1日1回、自動でデータのコピーを取得するため、トラブル発生時には「直前の正常な状態」に戻せるという安心感が得られると思います。工場の稼働が止まると大きな損害につながる製造業などでは、短時間で復旧できる仕組みは、昨今の社会情勢的にも非常に求められるところであり、重要だと感じています。

短時間&低コストでの導入が可能な点も特長の1つです。miteneCloudも同じくNutanix基盤を活用しているため、追加のソフトウェアが不要で短時間で導入できます。バックアップの取得も自動化されているため、運用負担が軽減されるのもメリットですね。コストを抑えながらBCP対策を強化したい企業様にとって、本当に導入しやすいサービスだと思います。

BCP対策としても有効です。近年はデータが暗号化されるリスクや、災害時のデータ消失リスクに備えた対策が重視されています。重要なデータを守りつつ、迅速に復旧する仕組みとしてmiteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービスは非常に有効な選択肢になるだろうと考えています。



グループ会社だからこそ実現できる「安全・迅速・低コスト」な
セキュリティ保護

— 三谷商事とmiteneCloud の連携のポイントを教えてください。

東様：三谷商事さんは、Nutanixの販売だけでなく、運用・保守も含めた包括的なサービスを提供している点が大きな強みです。Nutanixの導入支援に加え、企業の運用体制に合わせたカスタマイズや追加機能の提案も行うことで、中長期的な価値提供を実現しています。

特に製造業を中心に、従業員が数百名規模の企業様において、miteneCloudのバックアップサービスが最適な選択肢になるのではないかと感じています。製造業では、例えば生産計画データや在庫管理システムのデータが消失した場合、工場の稼働が止まり、サプライチェーン全体に影響が及ぶリスクがあります。miteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービスを活用することで、災害やシステム障害が発生しても迅速にデータを復旧できるような体制を構築することができるのです。

本来であれば、バックアップを取るためにサーバーを増設すると、それだけで数千万円単位で費用が発生してしまうようなケースもありますが、miteneCloud Nutanix遠隔スナップショットサービスを利用することで、比較的安価今の環境のバックアップを取れるようになります。三谷商事さんの導入支援とmienteCloudを一気通貫でご提供できる体制をとれることがポイントですね。

また、三谷商事さんとミテネインターネットは同じグループ会社なので、miteneCloudにバックアップを取ることで、バックアップのためにデータをグルーブ外に置かれるのが不安という企業の方にも満足いただけるかと思います。

そしてmiteneCloudは、単なるバックアップサービスにとどまらず、データ復旧・ランサムウェア対策・システム保護を包括的に提供しています。自動バックアップ機能により、設定したスケジュールに沿って日次バックアップも可能です。これにより、バックアップの取り忘れや人的ミスリスクを軽減し、安心してシステム運用が行えるのも大きなメリットですね。

—最後に miteneCloud の今後の展望についてお聞かせください。

東様：三谷商事さんがNutanixの「チャンピオンリセラー」であることを活かし、東京拠点を活用した全国展開も視野に入れています。miteneの東京部署がデータ運用を担当することで、より広範なニーズに対応できる体制を整えていく計画です。



これからもmiteneCloudと三谷商事さんとの連携を強化し、BCP/DR対策の市場ニーズに応えていきたいと考えています。そうすることで、miteneCloudがあらゆる企業のお守りのようなサービスにしていきたいですね。



©2024 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix は Nutanix, Inc. の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

問合せ先

**MITANI CORPORATION**
三谷商事株式会社
✉ nutanix_info@mitani-corp.co.jp

